

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2025年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科	研究科造園学専攻		
科目名称	造園計画特別演習						授業形態	講義・演習	
科目コード	642523	単位数	8単位	配当学年		実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	関西 剛康							ICT活用	○
授業概要	具体的な地域の緑地環境・公園計画・地域計画・住民参加型によるまちづくり等のランドスケープ環境や、庭園文化やその利用などの中から課題を設定し、実際に学術的観点から調査・構想・計画・維持管理等の一連の高度な専門的知識と技術の修得を目指す。また実際に、地域住民・行政職員・NPO等の方々との交流を通じて、社会資本としての造園計画の重要性を認識し、高度な社会性を身につけて、修士論文の作成能力を養う。教員は、技術士（総合技術監理部門、建設部門〔都市及び地方計画〕）や登録ランドスケープアーキテクト（RLA）等の有資格者であり、実務として造園コンサルタントの設計事務所で20年にわたって国内外の100件を超える都市公園や庭園プロジェクトに参画したキャリアを有する。また、教員は文化庁文化審議会専門委員、宮崎県美しい宮崎づくり推進有識者会議長、宮崎県景観まちづくりアドバイザー、宮崎市花のまちづくりコンクール審査委員長、宮崎グリーンインフラ研究会長などの職務経験も豊富である。授業では、実際に計画設計したランドスケープや先進事例を紹介しながら行う。								
関連する科目	本授業の履修と同時に東洋庭園学特論Ⅰ・Ⅱ、造園計画特論Ⅰ・Ⅱを受講することが望ましい。								
授業の方法と進め方	1. 基本的にアクティブラーニング方式を取り入れて実施する（学術・知識のインプット）。 2. 授業前半は講義を行う（学術・知識のインプット）。 3. 授業後半はグループ学習、ディスカッションや課題発表（問題解決学習、プレゼンテーション）等を行う（学術・知識の醸成とアウトプット）。 4. 授業にはノートパソコンを持参して、ZOOMやSLACKを用いて、データや資料を共有しながら授業を行う。 5. CAD、画像加工アプリ、統計処理ソフトなどを用いながら、授業を行う。								
第1回	【第1期：M1前期】 第1回 ガイダンス （造園計画特別演習の学期内予定の計画概要の説明と心得について） 第2回 Chapter-1 修士論文の目的設定 （研究目的について学ぶ） 第3回 Chapter-1 修士論文の目的設定 （研究目的の検証について学ぶ） 第4回 Chapter-1 修士論文の目的設定 （研究目的の整理について学ぶ） 第5回 Chapter-1 修士論文の目的設定 （研究目的の立案について学ぶ） 第6回 Chapter-1 修士論文の目的設定 （研究対象の精査について学ぶ） 第7回 Chapter-1 修士論文の目的設定 （研究対象の確定について学ぶ） 第8回 Chapter-2 修士論文の基礎研究 （研究方針の検討について学ぶ） 第9回 Chapter-2 修士論文の基礎研究 （研究内容の手法について学ぶ） 第10回 Chapter-2 修士論文の基礎研究 （先行研究についてについて学ぶ） 第11回 Chapter-2 修士論文の基礎研究 （先行研究の収集-1について学ぶ） 第12回								

Chapter-2 修士論文の基礎研究
(先行研究の収集-2について学ぶ)

第13回

Chapter-2 修士論文の基礎研究
(先行研究の収集-3について学ぶ)

第14回

Chapter-2 修士論文の基礎研究
(先行研究のまとめについて学ぶ)

第15回

学期末中間纏め
(研究論文の中間纏めと今後の研究計画について学ぶ)

【第2期：M1後期】

第16回

ガイダンス
(造園計画特別演習の学期内予定の計画概要の説明と心得について)

第17回

Chapter-3 修士論文の現地調査
(調査研究の実施-1について学ぶ)

第18回

Chapter-3 修士論文の現地調査
(調査研究の実施-2について学ぶ)

第19回

Chapter-3 修士論文の現地調査
(調査研究の実施-3について学ぶ)

第20回

Chapter-3 修士論文の現地調査
(調査研究の実施-4について学ぶ)

第21回

Chapter-3 修士論文の現地調査
(調査研究の実施-5について学ぶ)

第22回

Chapter-3 修士論文の現地調査
(調査研究の実施-6について学ぶ)

第23回

Chapter-4 調査データと資料の集計と解析
(調査データと資料の集計-1について学ぶ)

第24回

Chapter-4 調査データと資料の集計と解析
(調査データと資料の集計-2について学ぶ)

第25回

Chapter-4 調査データと資料の集計と解析
(調査データと資料の集計-3について学ぶ)

第26回

Chapter-4 調査データと資料の集計と解析
(調査データと資料の集計-4について学ぶ)

第27回

Chapter-4 調査データと資料の集計と解析
(調査データと資料の集計-5について学ぶ)

第28回

Chapter-4 調査データと資料の集計と解析
(調査データと資料の集計-6について学ぶ)

第29回

学期末中間纏め
(中間発表(プレゼンテーション)を行う)

第30回

年度末中間纏め

(研究論文の中間纏めと今後の研究計画について学ぶ)

【第3期：M2前期】

第31回

ガイダンス

(造園計画特別演習の学期内予定の計画概要の説明と心得について)

第32回

Chapter-5 研究論文の根拠の検証

(調査データの取り纏め-1について学ぶ)

第33回

Chapter-5 研究論文の根拠の検証

(調査データの取り纏め-2について学ぶ)

第34回

Chapter-5 研究論文の根拠の検証

(調査データの取り纏め-3について学ぶ)

第35回

Chapter-5 研究論文の根拠の検証

(調査データの取り纏め-4について学ぶ)

第36回

Chapter-5 研究論文の根拠の検証

(調査データの取り纏め-5について学ぶ)

第37回

Chapter-6 研究データの小考察

(調査データの取り纏め-1について学ぶ)

第38回

Chapter-6 研究データの小考察

(調査データの取り纏め-2について学ぶ)

第39回

Chapter-6 研究データの小考察

(調査データの取り纏め-3について学ぶ)

第40回

Chapter-6 研究データの小考察

(調査データの取り纏め-4について学ぶ)

第41回

Chapter-7 研究データの総合考察

(調査データの取り纏め-1について学ぶ)

第42回

Chapter-7 研究データの総合考察

(調査データの取り纏め-2について学ぶ)

第43回

Chapter-7 研究データの総合考察

(調査データの取り纏め-3について学ぶ)

第44回

Chapter-7 研究データの総合考察

(調査データの取り纏め-4について学ぶ)

第45回

学期末中間纏め

(研究論文の中間纏めと今後の研究計画について学ぶ)

【第2期：M2後期】

第46回

ガイダンス

(造園計画特別演習の学期内予定の計画概要の説明と心得について)

第47回

Chapter-8 修士論文の執筆指導

(論文全体の取り纏め-1について学ぶ)

	第48回 Chapter-8 修士論文の執筆指導 (論文全体の取り纏め-2について学ぶ) 第49回 Chapter-8 修士論文の執筆指導 (論文全体の取り纏め-3について学ぶ) 第50回 Chapter-8 修士論文の執筆指導 (論文全体の取り纏め-4について学ぶ) 第51回 Chapter-8 修士論文の執筆指導 (論文全体の取り纏め-5について学ぶ) 第52回 Chapter-8 修士論文の執筆指導 (論文全体の取り纏め-6について学ぶ) 第53回 Chapter-8 修士論文の執筆指導 (論文全体の取り纏め-7について学ぶ) 第54回 Chapter-8 修士論文の執筆指導 (論文全体の完成度の確認とその指導) 第55回 Chapter-9 修士論文の口頭発表 (準備内容の要点と理解について学ぶ) 第56回 Chapter-9 修士論文の口頭発表 (パワーポイントの作成について学ぶ) 第57回 Chapter-9 修士論文の口頭発表 (パワーポイントの修正とその指導) 第58回 Chapter-9 修士論文の口頭発表 (発表内容の確認について) 第59回 Chapter-9 修士論文の口頭発表 (プレゼンテーションの全体確認) 第60回 最終講評 (修士論文の最終講評と提出)
授業の達成目標	1. 造園計画に必要な理論や技術を習得すること【基礎的知識の習得】 2. 実際の現場での課題に対して、解決策を提案する能力を身につけること【専門力の育成】 3. 独自の視点から問題を分析し、解決策を検討する能力を身につけること【専門力の育成】 4. 社会課題に取り組むことで、研究力や問題解決能力を高めること【自己管理力・生涯学習力】 5. 専攻する修士論文について、先行研究の把握、研究目的、研究方法、考察（結論）を十分考慮して完成できる能力を目標としている【自己管理力・生涯学習力】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・技能と教養-(1)食・緑」の専門分野における高度な知識・技能／1.知識・技能と教養-(2)未知問題解決のために知識・技能を創造的に活用できる。／2.人間力・社会性・国際性-(1)豊かな個性を発揮して課題を発見し、探求することができる。／2.人間力・社会性・国際性-(2)課題を広い視野で捉え、客観的に評価ができる。／2.人間力・社会性・国際性-(3)主体性を持って多様な人々と協働し、課題解決ができる。／2.人間力・社会性・国際性-(4)自分の文化や異なる文化を理解でき、文化を超えて交流できる。
授業時間外学習【予習】	1. 授業で配布する学術論文や資料等を授業前に精読すること。 2. 大学院の授業であるため、事前に参考となる研究資料を準備しておくこと。 3. 予習は1時間程度行うこと。
授業時間外学【復習】	1. 授業後にさらに理解を深めるために学術論文や資料等を再度精読すること。 2. 復習は1時間程度行うこと。
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却期間をもうけて返却ならびに解説をします。

評価方法・基準	発表・研究した内容に関するレポート（100点）
テキスト	テキストは使用しないが、その代わりに適宜プリント資料を配布する。
参考書	1. 『ランドスケープ研究』 日本造園学会 2. 『ランドスケープ研究作品集』 日本造園学会 3. 『ランドスケープデザイン』 マルモ出版 など
備考	造園計画研究室（関西研）における研究領域の概要は以下の通りである。 1）まずは、SDGs（持続可能な開発目標）を基本に、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土づくりを進める「グリーンインフラ」の視点に立ち、地域活性化や持続可能な都市経営を考えたランドスケープについて研究している。例えば、地域の課題解決型をテーマに、実際にフィールドワークによって現状の課題について調査分析を実施し、地域の方との協働で考察を行い、新たな社会資本やその体制をランドスケープの社会実装を推進。 2）また伝統的な日本庭園の研究を推進して、文化財庭園の修復や継承から持続可能な維持管理による文化財保護、その庭園の歴史的背景に関する史的研究などを行い、世界に発信する日本文化の深化を図っている。そして、その知識と専門技術を用いて、次世代型の日本庭園の構築を研究している。 ①近代ランドスケーププラン＆デザインに関する実践研究とその活用（グリーンインフラ社会実装・造園計画） ②都市緑地環境の形成に関する調査研究とその活用（都市緑地形成・都市経営・まちづくり） ③日本庭園の成立背景に関する歴史原論研究とその活用（日本庭園史・庭園計画・歴史まちづくり）